

ジャンル/小説

Novelist



江夏

美好

ENATSU Miyoshi

代表作

- 『脱走記—南奇兵隊始末』 (1963年)
- 『流離の記』 (1966年)
- 『下々の女』 (1971年)
- 『阿古女のうた』 (1973年)
- 『もがり笛』 (1975年)
- 『わたしの飛騨高山』 (1980年)
- 『雪の碑』 (1980年)
- 『針千本 私のがん闘病記』 (1982年)

ほか多数

活動略歴

- 1923年 本名・中野美与志。岐阜県神岡町 (現・飛騨市) で生まれ「文芸首都」同人になる。
- 1957年 夫の転勤に伴い名古屋市在住となる。
- 1959年 同人誌「東海文学」を主宰。
- 1963年 直木賞候補。
- 1964年 直木賞候補。「東海文学」9月号掲載文からペンネームを「江夏美好」に変更。
- 1970年 『下々の女』で田村俊子賞受賞。この作品でそれまで小説の題材としてこなかった故郷の歴史や風俗、明治・大正・昭和の時代を生きた一人の女性の人生を描いた。デビュー10周年の作家活動を迎えた時、口腔がんを患う。
- 1981年 「東海文学」を第80号で終刊。
- 1982年 死去。

参考・出展元／「文芸中部 第40号」文芸中部の会 1995年

ENATSU Miyoshi (1923 – 1982/ Genre ; Classic literature, Essayist)

In 1959, she founded her own the self-published magazine, "Tokai Bungaku," in Nagoya. She mainly published her novels in this magazine, and the novel that was nominated for the Naoki Prize was also published in this magazine. She held critique meetings at her home and was enthusiastic about mentoring her juniors.

In 1971, she won the 11th TAMURA Toshiko Prize.

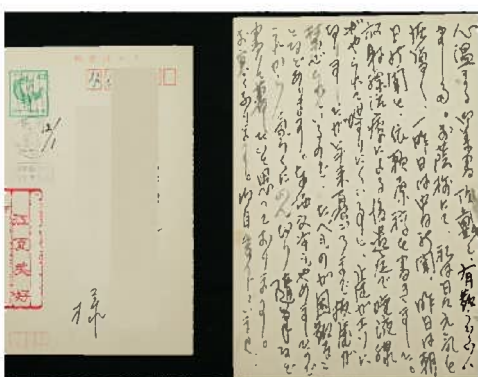
監修/山下達治氏 (あいち文学フォーラム代表)

ジャンル / 小説

Novelist

名古屋市収蔵の資料
／ 江夏美好

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to Enatsu Miyoshi in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.←文化のみち二葉館2階にある「ゆかりの作家展示室」内
常設展示の江夏美好資料品。

↑宛先人からの手紙への返信。病状が書かれている。



↑宛先人の子どもの宛てた葉書、江夏美子名義の葉書。



←「東海文学」創刊号から10号まで。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。